

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		牛窪 潔	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業発展論(英語による授業)の教材(改訂版)と授業内容・授業方法の検証 ○マネジメント論(実践論・応用論)の教材(改訂版)と授業内容・授業方法の検証 ○中小企業経営論の教材(改訂版)と授業内容・授業方法の検証 ○FDの実施(専門科目の英語教育の改善施策) ○統計解析の教材(改訂版)の検証 ○担当科目の単位の実質化を図る ○2年次指導教員としての任務を全うする ○ゼミの学生に対する進路指導と就活対策 			0.40	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の改訂により、グループワークの質が高まり、学生の理解度と満足度も向上した。 ○教材の改訂により、ケース視聴後のディスカッションの質が高まり、理解度と満足度も向上した。 ○教材の改訂により、グループワークの質が高まり、学生の理解度と満足度も向上した。 ○本年度は中小企業発展論とマネジメント応用論のセルフFDを実施し、報告書を作成した。 ○統計解析の教材(改訂版)は、4年次のゼミで活用し、卒業論文の質的向上に貢献した。 ○シラパスの充実、授業内容と方法の改善、テストの見直し、教材の改善を実施し効果に繋がった。 ○2年次生の個別履修指導の充実を図った。5月と11月に年次懇談会を開催した。 ○ゼミの学生は、全員進路が決定した。 		
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○ドラッカー3大古典に関する文献研究と論文の作成 ○科研費「沖縄型マネジメントに関する一考察」の申請 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○ドラッカー3大古典に関する論文は平成30年6月に完成予定。 ○科研費「沖縄型マネジメントに関する一考察」の申請をした。 		
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○読谷村役場の管理者研修 ○教員免許更新講習(石垣地区) ○沖縄県生産性本部副会長としての任務遂行 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○8月21日と11月24日に、読谷村役場の管理者研修を実施した。 ○8月19日に八重山商工にて、教員免許更新講習を実施した。 ○理事会と総会に副会長として出席し、任務を全うした。 		
管理 運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ○RCC事業に関する委員会への出席 ○学部改組に拘わる会議の運営と設置計画書の作成 ○評議員としての課される委員会への参加と効果的な任務遂行 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> ○RCC事業に関する委員会は、約月一度頻度で出席した。 ○国際地域創造学部の教育運営検討WG長として業務を全うした。 ○評議員としての課される委員会へは全て出席し、任務を全うした。 		
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		與那原 建	所 属	観光産業科学部 産業経営学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ○経営戦略論・競争戦略論の講義資料の作成と受講生の評価をふまえた授業の改善、授業評価アンケートの実施 ○経営学演習Ⅰにおける研究指導(ゼミ論文のテーマ設定についての指導)と経営学演習Ⅱにおけるゼミ論文の作成指導 ○ゼミ卒業生との交流会を通じた進路指導 ○大学院生の修士論文作成指導 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> ○担当科目について新たな内容を盛り込んだ講義資料を作成し、受講生からの授業評価をふまえた授業の改善に取り組んだ(事例の追加、WebClassの活用)。授業評価アンケートも実施した(前・後学期)。 ○演習Ⅰにおいては、論文テーマの設定について指導を実施し、全員の論文テーマが確定した。 ○ゼミ論文の作成指導を行い(演習Ⅱ)、ゼミ生全員(12名)が論文を完成させた(教育後援会の補助を受け、論文集は製本し、配付した)。 ○ゼミ卒業生との交流会を開催したが、OB・OGから現役学生に進路面での助言などがあり、有意義な会となった。 ○大学院生の修士論文作成指導を行い、修士論文を完成させ、学位審査・最終試験の合格につなげた。 	
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ○科研費基盤研究(C)の申請 ○『経済研究』への投稿 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> ○科研費基盤研究(C)を申請した。 ○『経済研究』第94号(9月発行)に研究論文を投稿した。 	
社会 貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長としての貢献 ○沖縄県産業振興公社中小企業課題解決プロジェクト推進事業審査委員会委員長としての貢献 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長として委員会を開催し、申請のあった案件の審査を行い、基準を充足したものを認定した。 ○沖縄県産業振興公社中小企業課題解決プロジェクト推進事業審査委員会委員長として審査委員会を開催し、補助金交付事業を選定した。 	
管理 運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○各種委員会委員としての貢献 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○各種委員会委員(全学・学部)に参加した。 	
計	1.00			1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		桑原 浩	所 属		観光産業科学部産業経営学科	職 名		教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果						
教育・ 学生支援	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の教材改善を図る。「観光経営論」の授業方法の改善を図る。 ・担当科目の単位の実質化を図る。 ・個人指導担当1年次生及びゼミ生の学習達成度に関する個人指導を実施する。 ・各学期の開始時及び随時に3年次及び4年次ゼミ生への進路指導を実施する。 			0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の課題教材を改善した。「観光経営論」の構成を改変し、講義回ごとのクイズとグループワークを取り入れた。 ・上記二科目はの評価において課題の多様化を行い成績評価に反映させた。 ・個人指導担当1年次生及びゼミ生の学習達成度に関する個人指導を実施した。 ・各学期の開始時及び随時に3年次及び4年次ゼミ生への進路指導を実施した。 						
研究	0.40	研究の種類: 応用的研究、実践的研究 研究テーマ: 東南アジアにおける観光マネジメント、観光ルート開発、フードツーリズム <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費採択研究(基盤C)「インドネシア貧困地域における観光ファミリービジネスのスタートアップ課題と支援戦略」を実施する。 ・観光に関する論文を1編以上執筆し公刊する。 ・上記研究テーマに関する研究を学会、学術会議で1回以上発表する。 			0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費採択研究(基盤C)「インドネシア貧困地域における観光ファミリービジネスのスタートアップ課題と支援戦略」のための現地調査を12月に実施した。 ・琉球大学法文学部研究紀要第94号にて、論文「観光地飲食店体験の地域特徴分析: 北海道旅行者と京都府旅行者への適用事例」(査読無し)を公刊した。 ・Asian Journal of Tourism Research, Vol.2(No.2), PP.117-136にて、論文「Satisfaction Structure of Japanese Female Food Travelers」(査読あり)を公刊した。 ・日本観光学会第111回全国大会にて「観光地飲食店体験の地域特徴分析: 北海道旅行者と京都府旅行者への適用事例報告」を発表した。 						
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の公開授業を実施する。 ・JICA草の根技術協力事業「インドネシア共和国南東スラウェシ州ワカトビ県における地域に根差した環境保全型観光開発の推進」(特定非営利法人おきなわ環境クラブが受託)において、マーケティング専門家として参加協力する。 			0.10	科目「観光マーケティング論」の公開授業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・JICA草の根技術協力事業「インドネシア共和国南東スラウェシ州ワカトビ県における地域に根差した環境保全型観光開発の推進」(特定非営利法人おきなわ環境クラブが受託)による現地担当者研修の一部として、9月17日JICA沖縄国際センターで「マーケティングの基礎」の講義を提供した。 						
管理運営	0.10	以下の担当委員会へ積極的に参加する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「全学情報システム運用委員会(部局技術責任者)」 ・「国際交流に関する自己点検・評価委員」 ・「学部図書紀要委員会」 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際交流に関する自己点検・評価委員会」および「学部図書紀要委員会」へ適宜参加した。 						
計	1.00				1.00							
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。				<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		井川浩輔	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	①教育に関して、今年度担当する科目において、学習行動に関するデータを収集・分析して、改組に対応するための授業を新たに開発する。 ②学生支援に関して、本年度は経営学演習において、ICT等を活用して卒業研究を継続的にサポートできる体制を新たに構築する。			0.30	①教育に関して、大学が実施している授業評価アンケートとは別に講義の改善に関する質的データを収集して、その情報をもとに経営学入門や基礎演習(それぞれ新学部科目)の授業を新たに開発した。 ②学生支援に関して、経営学演習においてICT等を活用して卒業論文指導を行った。その結果、大学院進学を希望する学生2名が院試に合格した。		
研究	0.50	①英語論文を新たに1本執筆し、海外の査読付きジャーナルに投稿する。 ②研究代表者として研究計画などを新たに作成して科研費を申請する。			0.50	①英語論文を新たに1本執筆しそれを国際的な論集に投稿した。 ②研究代表者として研究計画などを新たに作成して科研費を申請した。		
社会 貢献	0.10	新人・若手職員などを対象とした経営学に関する研修をボランティアで1回以上実施する。その際、研修効果を測定する仕組みを新たに開発する。			0.10	病院職員を対象とした研修をボランティアで2回実施した。研修効果を測定するフレームワークを新たに開発してデータを収集・分析した。		
管理 運営	0.10	管理運営に関して、本年度は併任教員などとして、委員会やそれに関連するワーキング・グループなどに参加し、情報収集や情報発信を行う。			0.10	管理運営に関して、委員会やそれに関連するワーキング・グループの活動などに参加して情報収集するとともに、アンケートに協力するなどして教育現場の経験を活かした情報提供を行った。		
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		野口 浩	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	30.00	1. 大学院ゼミ1年生4人の修士論文の資料収集、目次作成、および論文の内容を指導する。 2. 大学院生の就職を支援するために、海外アカウンティングファームとの関係を密にする。 3. 学部生の就職を支援するために、沖縄の税理士法人および東京の有力企業人事部との交流を積極的に行う。		30.00	1.大学院ゼミ1年生4人の修士論文の方向性を打ち出すことができた。 2. 大学院生2人が、KPMG税理士法人・東京事務所から就職の内定を頂いた。 3. 沖縄の税理士法人との交流を積極的に行い、学部生の就職の道を開くことができた。			
研究	40.00	1. 英語の論文を公益財団法人租税資料館が開催しているThesis Contestに提出する。 2. 日本語の論文を国内の権威ある雑誌に公刊する。 3. 査読付き論文を完成させる。		45.00	1. 英語の論文をThesis Contestに提出した。 2. 日本語の論文2本を国内の権威ある雑誌に投稿して公刊された。 3. 2018年8月に開催される日本税法学会の全国大会で報告する査読付き論文を投稿した。			
社会 貢献	15.00	学外での租税教育にも力を注ぐ。		10.00	学外での租税教育に力を注いだ。			
管理 運営	15.00	大学および大学院の管理運営に寄与する。特に、大学院経営管理領域主任の仕事を全うする。		15.00	大学院経営管理領域主任の仕事を全うした。			
計	100.00			100.00				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	宮国薫子		所 属	観光産業科学部 産業経営学科	
職 名	准教授				
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.30	経営学演習Ⅱ(ゼミ)の学生の就職相談に応じる。経営学演習Ⅱにおいて、卒業研究論文の指導をし、まとめる。経営学演習Ⅰ・Ⅱにおける講義や討論を英語で行い、学生に国際的に通用するコミュニケーション能力を身につけていただく。観光情報論の授業において、ホームページを活用して学生の学習意欲を引き出す。		0.30	経営学演習Ⅱ(ゼミ)の学生の就職相談に応じ、模擬面接などを行った。経営学演習Ⅱにおいて、卒業研究論文の指導をし、論文集を印刷した。経営学演習Ⅰ・Ⅱでは、講義や討論を全て英語で行い、学生に国際的に通用するコミュニケーション能力を高めた。また、3月にアイランドツーリズム(観光産業科学部主催のシンポジウム)において、学生を指導し、英語で発表させた。観光情報論の授業においては、ホームページを活用して学生の学習意欲を引き出した。
研究	0.40	SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)において、研究論文や、テクニカルペーパーを執筆する。また、経済研究(紀要)にも投稿する。		0.40	SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)において、パラオ国際サンゴ礁センターの研究者とともに、ガイドブックの一章と、テクニカルペーパー(2冊)を執筆した。また、SATREPSにおいて、9月に観光キャリングキャパシティ研究の進捗具合について発表した。また、5年間の成果(観光開発の影響に対する住民の意識とマリンツーリズムにおける観光キャリングキャパシティの研究結果)を2月にパラオ一般国民向けに、また3月に、パラオ共和国観光庁で発表した。11月にRETI(国際島嶼学会)でパラオの観光キャリングキャパシティの調査結果について発表した。3月に第95回21世紀フォーラムで、5年間のSATREPSの研究成果を発表した。10月発行の経済研究(紀要)94号に「観光リンクージュを通してみた那覇市中心市街地の現状と課題」について執筆した。
社会 貢献	0.15	那覇市都市計画審議会委員、沖縄県国土利用計画審議会委員、沖縄県公共事業評価委員会委員、沖縄県地方港湾審議会委員、沖縄県指定管理者委員会委員、那覇港管理組合指定管理者委員会委員として職務を行う。		0.15	那覇市都市計画審議会委員、沖縄県国土利用計画審議会委員、沖縄県公共事業評価委員会委員、沖縄県地方港湾審議会委員、沖縄県指定管理者委員会委員、那覇港管理組合指定管理者委員会委員として職務を行った。7月に、西原町におけるMICEマリンタウン地区とモノレール計画シンポジウムでパネリストとして参加した。12月に那覇市公設市場立替について、ヒアリングを受けた。
管理 運営	0.15	将来計画委員・教育ワーキンググループ委員として業務を行う。		0.15	将来計画委員・教育ワーキンググループ(WG)委員として委員会に参加し、業務を行った(複合科目:国際経営のシラバス作成等)。また教育WG委員として「新学部における基礎演習」の講習会で、以前受け持った情報科学演習の内容について講義した。
計	1.00			1.00	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		福井 眞司 (フクイ シンジ)	所 属	観光産業科学部 産業経営学科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記原理1(1年次必修科目)習得の充実を図る。 ・Eラーニング(WebClass)を活用して、履修学生の個別対応を図る。 ・また講義内容および成績評価をデジタル化して管理・保存する。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・新学部となり、簿記入門(経営プログラム必修)として授業内容の見直しとを図り、計算演習など、より充実した内容にした。 ・Eラーニング(WebClas)による履修学生の個別対応が可能となり成果を出 ・講義内容及び成績評価のデジタル化による管理・保存はWebClassにより整備 	
研究	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・大学紀要および所属学会に研究論文を投稿・掲載する。 今年度のテーマは、1)「IPO上場企業の財務分析(地方版)」、2)「老舗企業の経営不振と企業財務分析」である。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・予定していた外部の全国学会誌への研究論文の投稿が不可となり、研究テーマの見直しはじめ、次年度での再投稿を予定している。 ※新学部への移行もあり、研究テーマの時代的対応性および地域的対応性の再検討の必要性があると指摘された。 	
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記会計(金融教育を含む)普及に努める。そのために中・高生および一般社会人(初心者)向けの分かりやすい図解教材および動画教材を作成する。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・金融教育を含む簿記会計に対する社会的要請は潜在的にはあるが、専が高い(難しい)ためか、中高生および社会人からの講義提供の要請について皆無であった。その代わり簿記検定などの資格試験での要請が多々あった 	
管理 運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学部会議、学科会議および担当全学・学部委員会の委員活動を確実に遂行する。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・新学部への移行年度となったためか、担当委員会などの活動に混乱があ十分な対応が思うようにできなかった点があった。 今後は、新学部・新学科の体制の中で、十分な役割担当を確実に遂行する。 	
計	1.00			1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名 前		橋本俊作	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.40	学生のキャリア形成に必須となる基礎力醸成の支援 ・キャリアデザイン力、インターンシップ活動、英語力向上		0.40	・キャリア開発演習においては、「社会で求められる力」を学生自らが企業にアプローチ、人事、現場へのインタビューを通して把握することにより、自ら開拓する力を向上することに繋がった。 ・海外インターンシップ3件：パリ、ミャンマー、タイ、を実施した。いずれも引率等は行わず学生自ら航空券等を行ったことにより、自律力の向上の繋がった。			
研究	0.20	・学会発表 1.EATSA (Euro-Asia Tourism Studies Association) 8月奈良・和歌山 2.日本キャリアデザイン学会 9月 東京 ・学会誌論文掲載 3.東北アジア観光学会		0.20	1,2.については予定通り行った。3.については29年度には行えなかったが、30年度早々に投稿できる見込みである。			
社会 貢献	0.10	1.沖縄県公共工事入札契約適正化委員会委員 2.キャリアコンサルタント資格取得支援		0.10	1.委員会に出席し、役割を果たした。 2.キャリアコンサルタントを目指す人々5名に無償で講習、個別指導を行い、4名が合格した。			
管理 運営	0.20	1.学科長業務 2.障がい学生支援室併任教員 3.キャリア教育支援部門の部門会議委員 4.新学部組織運営ワーキンググループメンバー 5.新学部入学試験ワーキンググループメンバー		0.20	1.ポスト不足により昇任が遅れていた1名の教員の昇任を、観光科学科との交渉によりポストを確保することにより昇任を実現した。 2.委員会に出席し役割を果たした。 3,4.新学部設立に向けて役割を果たした。			
国際 交流	0.10	1.Island Tourism Summit 2018開催 2.海外大学との交流協定締結 3.学部国際交流ワーキンググループ世話人		0.10	1.海外5カ国から7名、国内1名の研究者を招聘し、開催した。ボランティアスタッフを務めた学生と研究者との交流を促進し海外への視野の広がりに繋がった。また、通訳を務めた学生の英語力の向上に繋がったことは特筆できる。 2.天主教輔仁大学(台湾)、香港理工大学(中国)、コロンボ大学(スリランカ)との交流協定締結に合意を得た。 3.ワーキングを計5回開催し、上記交流協定締結合意に繋がった。			
計	1.00			1.00				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		王 怡人		所 属		観光産業科学部 産業経営学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.30	概論科目の講義内容をわかりやすくする工夫を継続する。 専門科目の内容を沖縄で実用的に展開できるように工夫する。 成績不振者の相談に乗り、可能な限り問題解決に協力する。				0.30	概論科目の講義内容をわかりやすくするように試みたが、結果、内容が多くなるため、一部の学生から、内容削減の要望があった。 沖縄で実用的に応用できるように工夫したが、却って沖縄ばかりとの批判もあった。 成績不振者やゼミ選択に迷っていた学生の対応を行った。				
研究	0.30	科研の調査結果を論文にまとめ公刊する。 観光・産業振興とビジネスに関連するテーマで科研費の申請に挑む。				0.30	前年度の調査結果に基づいて9月の学内紀要に論文を公刊した。 観光や産業振興に関連するテーマの科研費申請を行った。				
社会 貢献	0.20	広告論、マーケティング概論、戦略的マーケティングといった講義の公開。 産学連携のプロジェクトに協力する。				0.10	公開講義として提供した3つの科目に対して、マーケティング概論に1名の受講者がいた。 外部コンテストに対して、ゼミ生の参加を促した。2名の学生の参加はあったが、入賞は出来なかった。				
管理 運営	0.20	広報委員として学部・学科の対外的情報発信を勤める。 特色のある琉大教育の考案に積極的に参与する。				0.30	学科・学部のHPを通じて、対外的情報発信を務めてきた。そして学部改組のために新学部の特設サイトの制作・運営、高校告知用のパンフレットを作成した。 特色のある琉大教育について、直接的な貢献は出来なかったが、新学部改組のWGで可能な限り意見を提供した。				
計	1.00					1.00					
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成30年5月以降に学内外へ公表されます。

平成29年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		志村 健一	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成29年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成29年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.40	○学部担当科目、大学院担当科目の講義目標を達成すること。 また今回はクォーター制を試行する。 ◎各講義回数15回を達成すること ○個別面談担当として、学生支援を行うこと		0.00				
研究	0.40	○学会発表を1件行うこと ○論文1件の投稿を行うこと テーマは「企業行動科学と日本的品質管理について」(基礎科学研究)としたい		0.00				
社会 貢献	0.10	○委員としての職責を果たし、後継者育成を考えること		0.00				
管理 運営	0.10	○総合情報処理センター運営委員会委員として職責を果たす ○営利企業兼業審査委員会委員として職責を果たす ○学部施設管理・安全衛生委員会委員として職責を果たす		0.00				
計	1.00			0.00				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				